

放課後子供教室事業「ユーフォー」の名称変更の概要

1 目的

これまでの事業方針(友だち同士で遊びに行ける自由で安全な遊び場)だけではなく、児童にとって更なる事業の魅力向上のため、「児童がやりたい遊びや体験」を広く募集し、事業として実施することや、「家庭では体験できないこと」を重点的かつ定期的実施することで、「児童が自ら遊び・体験を作り上げられる、家庭では体験できない魅力的な事業」を展開していく。児童が自ら「遊び・体験を作り上げられる」事業への刷新に先立ち、「ユーフォー」に代わる事業名称を児童自身が「作り上げる(名づける)」とともに、放課後子供教室事業に「児童が自ら遊び・体験を作り上げられる、家庭では体験できない魅力的な事業」が加わったことを広く周知をし、利用率の向上を図る。

2 名称変更の概要について

(1) 公募

全放課後子供教室に新名称公募ボックスを設置し、調布市内に在住する小学生からの応募を受け付ける(1人複数回の応募可)。

なお、市報・ユーフォーだより(7・8月号)等を活用し、全市民・市立小学校全生徒に対する広報を行う。

また、応募用紙には児童から放課後子供教室事業への要望を自由意見で記入する欄を設け、今後の施策への参考とする。

(2) 選考

放課後子供教室新名称選考委員会を設置し、公募された名称案について、以下の図のように、3段階に分けて選考を行う。最終案は、全体選考までに絞られた案をもとに、選考委員長である子ども生活部長、選考副委員長である子ども生活部次長及び児童青少年課管理職で最終選考する。

児童からの応募内容に対する選考の考え方としては、「児童が安全・安心して友だちと交流を図りながら遊ぶ居場所」、「魅力及び利便性の向上やイメージの刷新」、「子どもならではの発想」等の観点から選考を行う。

放課後子供教室新名称選考委員会(案)



- (3) 名称決定及び表彰
最終選考結果をもとに新名称を市長が決定する。
なお, 新名称お披露目会を開催し, 新名称を発案した児童へ, 市長からの表彰を行う。
- (4) 要綱・ガイドライン改定
新名称に合わせ, 要綱・ガイドラインの改定を行い, 令和5年4月から新名称で放課後子供教室事業を展開する。

3 名称変更に関するスケジュール

日時	児童青少年課	放課後子供教室
令和4年6月中旬～下旬	周知(ホームページ・市報)	各施設で公募BOXのデコレーション工作
7月1日～8月8日	公募期間	
8月9日～23日	-	放課後子供教室内生考
8月24日～9月9日	全体選考	
9月12日～9月26日	最終選考	-
9月末頃	新名称決定	
10月以降	周知・表彰	
令和5年1月以降	要綱・ガイドライン変更	-
令和5年4月以降	新名称で放課後子供教室事業を展開	

【参考】

放課後子供教室事業「ユーフォー」の名称変更に至る背景

ユーフォーは、調布市教育委員会社会教育課において「児童が安全で安心して、友達と交流を図りながら、遊ぶことのできる居場所をつくる」ことを目的として、平成12年度から「全児童対象の放課後遊び場対策事業」として実施されてきました。

平成27年度には、社会教育課から児童青少年課へ移管し、以降は学童クラブ・児童館と並ぶ子ども達の放課後の居場所として放課後子供教室事業「ユーフォー」は定着しているところです。

近年、放課後の児童の居場所をより充実した内容として展開していくことが求められており、そのような社会情勢や保護者からの意見を反映させた取組として令和2年度からは入退室管理システムを導入し、令和3年度からは新1年生の利用開始時期を入学式前の4月1日からの利用を可能としました。また、令和4年度からは、ユーフォーの一部施設における試行的な取組として、ユーフォーの開設時間変更を実施しております。今後においては、保護者にとっての利便性の向上や魅力の寄与だけではなく、児童にとっての事業の更なる魅力向上のため、「児童がやりたい遊び・体験として募集したものをプログラムに取入れること」や「家庭ではできないプログラム実施(外部専門人材を活用した遊びの各種プログラムの取入れ、児童館との連携強化等)」に取り組むなどユーフォーの充実・利便性を図っているところです。

近年のユーフォーは、平成12年度の事業の実施当初の目的である「児童が安全で安心して、友達と交流を図りながら、遊ぶことのできる居場所をつくる」に加え、放課後の児童の居場所としての「内容の充実」の更なる向上を推進していくことに先立ち、名称変更をするとともに、魅力的な事業として広く周知をし、関心を高め、放課後子供教室事業の利用率の向上に努めてまいります。

これまでの放課後子供教室

安全で安心して、友達と交流を図りながら、自由に遊ぶことのできる放課後の居場所として事業を実施。(※ 4つのゆう(「夕」方まで「友」達と「優」しく「遊」ぶ)が「ユーフォー」の由来)

今後の放課後子供教室の新しい取組について

子どもたちの「やりたい！」を実現するワクワクする居場所へ

家庭では体験できないプログラム・体験の実施

- ・ 東京都専門人材活用プログラム(走り方教室, 基礎ダンス教室, 科学実験教室など)
- ・ 「民間企業の無償提供運動プログラム」「NPO 法人による体験型環境プログラム」
- ・ 児童館職員が学校に出張し、遊びのプログラムを提供する「出張児童館」の実施回数増加
- ・ 体を思いきり動かせる, 読書に触れる, 新しい知識を学べる機会の創出
- ・ 学生ボランティアによる遊びや学習の機会の創出

※ これまでの放課後子供教室の機能である「安全・安心に自由に
あそべる居場所」というコンセプトは引き続き維持する。